

8/27(土) まいど! 倫理です。年一回の健康診断終了帰って参りまして、特別な事には
なからなっております。喜んで参りまして、毎日家族が喜んでくれています。明るく家
を築いて参ります。

孝也 眞心アホ一鳥

2022. 8. 27~9. 2

今週の

倫理

8月のテーマ | 家庭愛和

1296号

ワークライフバランスという言葉があります。仕事に就いているすべての人々が仕事と仕事以外の生活との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことをいいます。昨今では、それを進化させた、ワークライフマネジメントという言葉も生まれ、「ワーク」と「ライフ」を積極的にマネジメントして、より豊かな人生を築いていこうという考え方もあるようです。

しかしながら、仕事と家庭のバランスが大切だとわかっていても、その両立は難しいものです。表面的には仲が良く見えても、実質的には問題を抱えている家庭も少なくありません。

Aさんは妻と小学生二人の四人で暮らしています。妻と協力しながら仕事と子育てに奮闘しつつ、自治会の役員や地域の清掃活動も引き受け、充実した毎日を送っていました。

しかし次第に、家族とのすれ違いが多くなり、必要最低限の会話を交わすだけの日が多くなりました。

ある日、知人との会話で、家族旅行の話が出ました。知人たちは家族が希望する旅行先の候補地について楽しく語っていたのに対し、Aさんは家族の行きたい場所がまったく思い浮かびませんでした。その時に初めて、最近、家族と会話をしていないことに気がついたのです。

このままでは家庭が崩壊するのではないかと焦ったAさんは、妻や子供たちの気持ちをなげかりにしていたことを思い起こ



家族の一致和合が 愛和の家庭を築く

しました。

今までは、仕事から帰ってきた時に妻から声をかけられると、「少しはゆつくりさせてくれ」と思ったり、子供が質問してきたり、話しかけてきたりした時は、別のことを考えていたこともあったのです。

Aさんは、家族に対するコミュニケーションの姿勢を深く反省しました。そして、家庭の中の雰囲気や相手を打つなど、話を聞く態度を改めていきました。

家族の様子をよく見るようになること、さまざまな気づきを得ることができました。子供たちが真剣に勉強に取り組む姿や、笑顔で家事に取り組むだけでなく、育児や介護、趣味や学習、地域活動もこなす妻の姿に尊敬と感謝の念が深まったのです。

Aさんの、その気持ちが通じたのか、家族の関係も改善していきました。

夫婦のヨコの人間関係と親子のタテの関係が十字にしっかりと結び合ってこそ、家庭の中軸が立ち立って来れます。家族の一致和合を欠いて繁栄はありえません。それには家族の一人ひとりが、それぞれ自分のおかれている立場を十分に理解して、精一杯その役割を演ずることが肝要です。

『新版 純粋倫理入門』
わずかな行き違いが家庭の不和を生んでしまうこともあります。明るく安定感のある家庭は、お互いに尊敬、信頼することによって作られていくのだと心得たものです。